

【File No. 35 | 岩村町本通り伝統的建造物群保存地区 岩村町本町他】



藩の御用達職を務めた木村家（市指定有形文化財）

岩村の本通りは、戦国期に織田信長配下の河尻秀隆が城郭と同時に整備着手したとされる。慶長6（1601）年に入封した初代藩主、松平家乗が本格的に建設を始め、城山西麓の台地に藩主邸と武家地、南の岩村川対岸に町人地を配した。正保年間（1645～1648）の絵図によると、武家地と町人地は2本の橋で結ばれ、現在の本町と呼ばれる本通り沿いの町屋が並ぶ形となった。その後、明治39（1906）年の岩村電気軌道の開設により、西町から新町まで発展し、現在の町並みとなっている。枳形から東は江戸時代の町並み、西は明治以降の町並みであるが、うまく調和していることが評価され、平成10（1998）年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

ひとロメモ

保存地区周辺では四季折々のイベントも盛ん。特に秋祭り行事のみこしの渡御では、時代衣装を身に着けた約300人の行列が壮観である。



美術館へようこそ！春の特別企画展のご案内

平成28年、美術館は開館15周年を迎えます。

4月3日(日)は「市民の日」。この日は恵那市民に限り観覧無料です。受付で「恵那市民です」とお伝えください。

※4月3日(日)までは企画展「国芳 謎解き木曾街道六十九次之内」を開催

4月3日(日)  
5月1日(日)  
6月5日(日)  
は市民の日

平成28年  
春季特別企画展

会期

4.7(木) - 6.12(日)

【前期】4.7(木) - 5.8(日)

【後期】5.12(木) - 6.12(日)

●展示室1、2  
(1、2F)

●主催：恵那市、恵那市教育委員会、(公財) 中山道広重美術館 ●後援：国際浮世絵学会 ●協力：(公財) 日動美術財団、メ〜テレ(名古屋テレビ放送)

古今東西美女競 - 描かれた女 -

美術館に、美人が集う。

浮世絵、日本画、油絵——。美人は永遠のテーマです。いつの時代も、画家は「美しい女(ひと)」を描いてきました。この春、中山道広重美術館に女性美を表した絵画が集います。会場で、あなたの心を動かす女(ひと)にきっと出会えることでしょう。

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日・祝日を除く) ※5.9(月)～11(水)は展示替えのため休館いたします。

○ゴールデンウィーク期間(4.29(金)～5.8(日))は開館いたします。

問 中山道広重美術館 TEL 0573-20-0522 <http://hiroshige-ena.jp>

歌川国芳「山海めてたいづゑ、はやくきめたい 播州高砂蛸」メ〜テレ(名古屋テレビ放送)所蔵作品(部分)



藤井 勉「ななつ」  
笠間日動美術館所蔵



東郷 青児「ヴァイオレット」  
笠間日動美術館所蔵

次号は  
4月15日号  
発行日は  
4月15日(金)です



広報えな No.263

2016年(平成28年)  
4月1日発行

発行 恵那市役所/編集 市長公室広報広聴係  
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1  
☎(0573)26-2111 / ☎26-2155 / (IP電話)050-5808-9521  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』4月1日号、  
1部当たりの印刷経費は  
約12.0円(税込み)です。



市ウェブサイト  
(閲覧用QRコード)  
あなたの知りたい情報  
を分かりやすく提  
供しています。



市メール配信サービス  
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ  
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

